



DCi- USERS MANUAL

CATV/xDSL Internet Sharing Box

BRL-01N/BRL-04

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

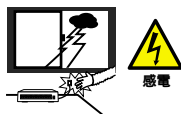
分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



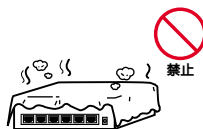
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。

万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

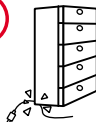
火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

コードの上に物を載せない

熱源の側にコードを置かない

コードをかじる癖のあるペットは隔離する

(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

目次

第1章 はじめに

1. 概要	4
2. 特長	5
3. 梱包内容の確認	6
4. 各部の名称	7
5. 対応機器	13

第2章 ハードウェアの接続

1. xDSL/ケーブルモデムとの接続 (WAN)	14
2. ネットワークとの接続 (LAN)	15
3. 電源の接続	17
4. 接続の確認	17
5. 本製品のリセット手順	18
6. 電源投入時の自己診断テストについて	19

第3章 簡単設定

1. コンピュータの設定	20
2. WAN側IPアドレスの設定	25
3. 接続の確認	37

第4章 アドバンスド設定

1. 設定画面を開く	38
2. 管理者パスワードの設定	40
3. 管理用端末の設定	41
4. LAN側TCP/IP設定	43
5. WAN側TCP/IP設定	45
6. DHCPサーバ機能の設定	52
7. バーチャルコンピュータ機能	57
8. ローカルサーバ機能	58
9. ルーティングテーブル	61
10. IPフィルタリング	65
11. その他の設定	68

12. トラフィックモニタ	70
13. アクセス状況の表示	71
14. デフォルト設定の読み込み	72
15. 設定の保存	73
付録A トラブルシューティング	74
付録B ファームウェアのアップデート	77
付録C デフォルト設定の復帰	80
付録D デフォルト設定	81
付録E telnet設定	82
付録F PPPoE接続での導入手順	86
1. PPPoEとは	86
2. PPPoEクライアント機能について	87
3. 動作確認済みサービス	87
4. 設定手順	88
5. プロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアについて	90
付録G 仕様	91

《マニュアル内の表記について》

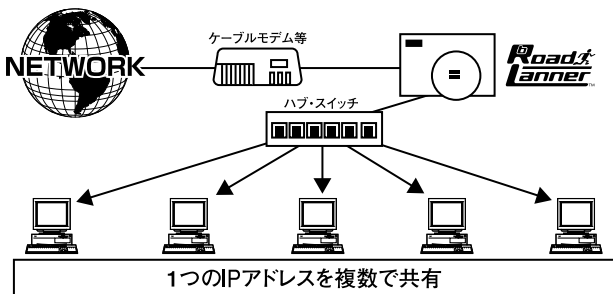
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

User's Manual Version 1.0 Rev.C

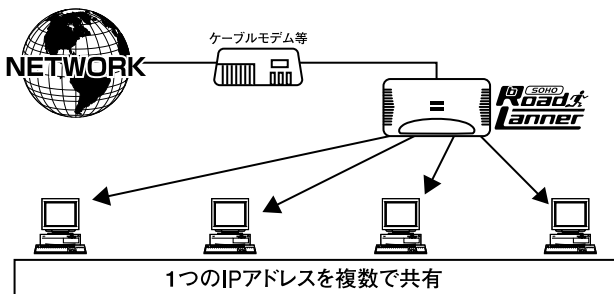
1.はじめに

1. 概要

本製品は、xDSLおよびCATV(ケーブルTV)接続を使用したインターネット接続に対応したインターネットシェアリングボックスです。NAPT(Network Address Port Translation : ネットワークアドレスポート変換)機能により、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセスすることが可能です。本製品はWEBブラウザまたはtelnetにより、簡単にセットアップすることが可能です。



1-1 bRoad Lanner接続図 < BRL-01N >



1-1 bRoad Lanner接続図 < BRL-04 >

注意 プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとのご契約内容についてご確認ください。

2. 特長

xDSL、CATV接続等のWAN回線に対応

NAPT機能により1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有可能

WAN側に10BASE-T RJ-45 STPポートを1ポート装備

LAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応したRJ-45 STPポートを1ポート装備(BRL-01N)

LAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識に対応した4ポートスイッチングハブを内蔵(BRL-04)

WAN側ポートはDHCPクライアントに対応

LAN側ポートはDHCPサーバに対応(最大253クライアント)

ローカルサーバ機能およびバーチャルコンピュータ機能により、ローカルネットワーク上のコンピュータにインターネットからアクセス可能

フィルタ機能を装備、IPアドレス、ポート番号によるアクセス制限が可能

WAN側の接続方法として通常の接続のほかにPPPoE接続、DANA接続に対応

WEBブラウザまたはtelnetから設定可能

3. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

bRoad Lanner(BRL-01N/BRL-04)本体

ACアダプタ

UTPストレートケーブル(1m) 1本

ショートケーブル 1本

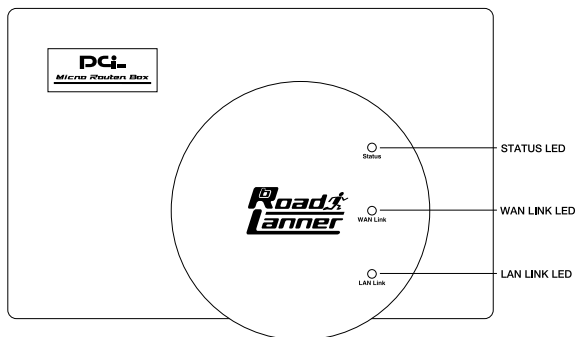
CD-ROMマニュアル

保証書

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4. 各部の名称

BRL-01N



1-2 BRL-01N本体上面

「Status LED」

本製品がデータの送受信中に点滅します。

「WAN Link LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。

「LAN Link LED」

LAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。



1-3 BRL-01N本体背面

「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「WAN側ポート」

本製品をxDSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「電源コネクタ」

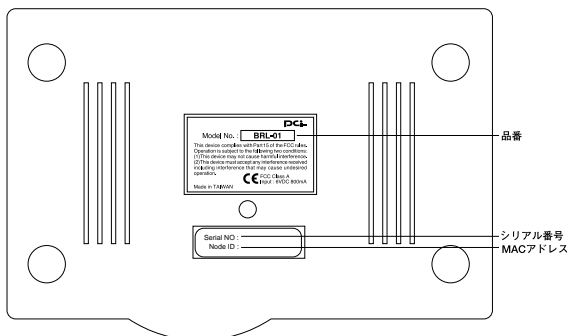
付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「Power LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。本製品を再起動する場合はリセットスイッチを1秒間程度(Status LEDが点滅を始めるまで)押してください。



1-4 BRL-01N本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

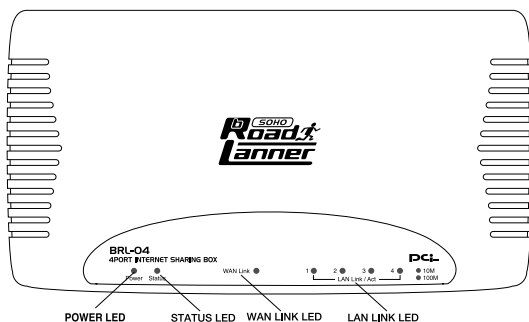
「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

「MACアドレス」

本製品のMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダによってはxDSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

BRL-04



1-5 BRL-04本体上面

「Power LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。

「Status LED」

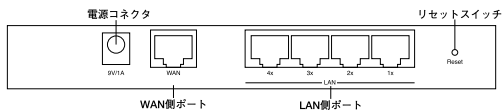
本製品がデータの送受信中に点滅します。

「WAN Link LED」

WAN側ポートのリンクが確立しているときに点灯します。

「LAN Link/Act LED」

LAN側ポートが100BASE-TXでリンクが確立すると、緑色に点灯します。10BASE-Tでリンクが確立すると、オレンジ色に点灯します。また、ポートがデータの送受信中は点滅します。



1-6 BRL-04本体背面

「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「WAN側ポート」

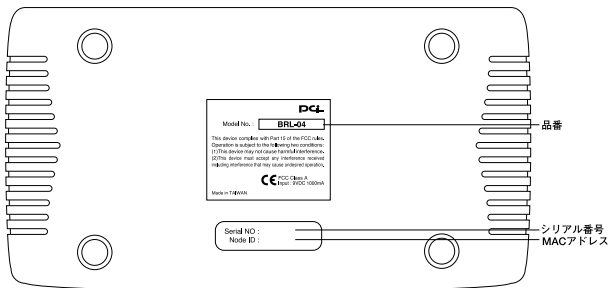
本製品をxDSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。本製品を再起動する場合はリセットスイッチを1秒間程度(Status LEDが点滅を始めるまで)押してください。



1-7 BRL-04本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

「MACアドレス」

本製品のMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダによってはxDSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

5. 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

- ・ Windows 95/98/ME/NT/2000を搭載し、Ethernet(RJ-45)ポートを装備したコンピュータ
- ・ TCP/IPが利用可能なOS(Mac OS、各種UNIX等)を搭載し、Ethernet(RJ-45)ポートを装備したコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

- ・ UTPまたはSTPツイストペアケーブル
- ・ 10BASE-T/100BASE-TXリピータハブまたはスイッチングハブ
(BRL-01Nのみ)

xDSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのxDSL/ケーブルモデムに対応しています。

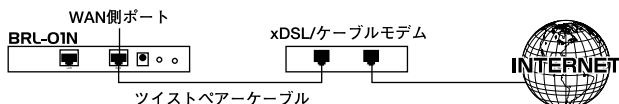
- ・ RJ-45(LAN)ポートを装備した外付xDSLモデム
- ・ RJ-45(LAN)ポートを装備した外付ケーブルモデム

2. ハードウェアの接続

本章では、本製品とxDSL/ケーブルモデム、ハブとの接続手順について説明します。

1. xDSL/ケーブルモデムとの接続(WAN)

- 1.xDSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。
- 2.ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートを接続してください。



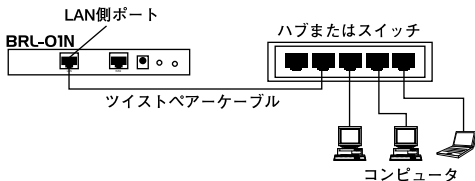
2-1 xDSL/ケーブルモデムとの接続

注意 xDSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートケーブルでなく、クロスケーブルを必要とするものもあります。詳細については、お手持ちのxDSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

2. ネットワークとの接続(LAN)

BRL-01N

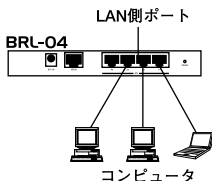
1. ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN側ポートに接続してください。
2. ツイストペアケーブルのもう一端をハブ(10BASE-T/100BASE-TXリピータハブやスイッチングハブ等)のRJ-45ポートに接続してください。
3. 本製品を経由して、インターネットにアクセスするコンピュータとハブをツイストペアケーブルで接続してください。



2-2 ネットワークとの接続(BRL-01N)

BRL-04

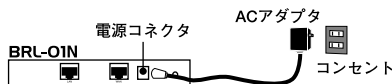
1. ストレートタイプのUTPまたはSTPツイストペアケーブルの一端を本製品のいずれかのLAN側ポートに接続してください。
2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45ポートに接続してください。
3. 本製品に4台以上のコンピュータを接続したい場合は、本製品のいずれかのLAN側ポートに他のハブを接続し、そのハブにコンピュータを接続してください。



2-3 ネットワークとの接続(BRL-04)

3. 電源の接続

1. 付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続してください。
2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。コンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。
3. xDSL/ケーブルモデムの電源を入れてください。
4. ハブの電源を入れてください。



2-4 電源の接続

注意 ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

4. 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPower LEDとWAN LinkおよびLAN Link LEDが点灯します。

これらのLEDが点灯しない場合は以下の点についてご確認ください。

Power LED

- ・ 本製品付属のACアダプタを使用していますか？
- ・ ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
- ・ ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN Link LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

LAN Link LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびハブまたはコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・ハブまたはコンピュータの電源は入っていますか？
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

5. 本製品のリセット手順

本製品背面にはリセットスイッチが装備されています。何らかの理由で本製品のリセットを行いたい場合は、以下の手順でリセットを行ってください。

1. 本製品に電源が入っていることを確認し、リセットスイッチを約1秒間(Status LEDが点滅を開始するまで)押してください。
2. 本製品上面のStatus LEDが7回(BRL-04は8回)点滅します。

6. 電源投入時の自己診断テストについて

本製品は電源投入時、自動的に自己診断テストを実行します。本製品が正常に起動すると、製品上面のStatus LEDが7回(BRL-04は8回)点滅します。このLEDが7回(BRL-04は8回)点滅しない場合は、本製品の故障が考えられます。弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

3. 簡単設定

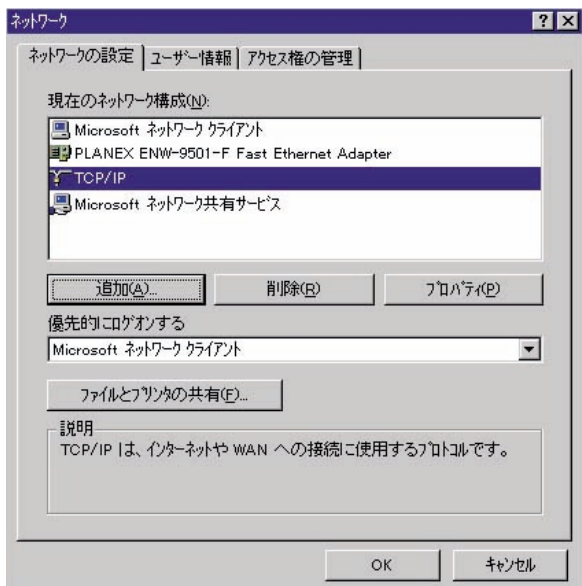
本章では本製品の簡単設定手順について説明します。簡単設定では、必要最小限の設定のみで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようにします。

簡単設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とxDSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を済ませておいてください。本製品のより詳細な設定を行う場合は、第4章「アドバンスド設定」を参照してください。

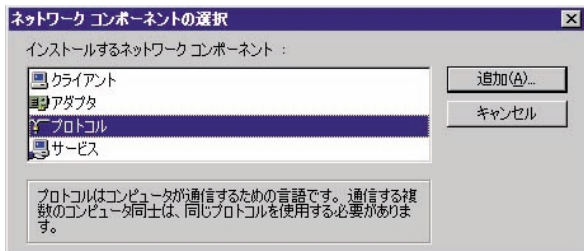
1. コンピュータの設定

Windows95/98

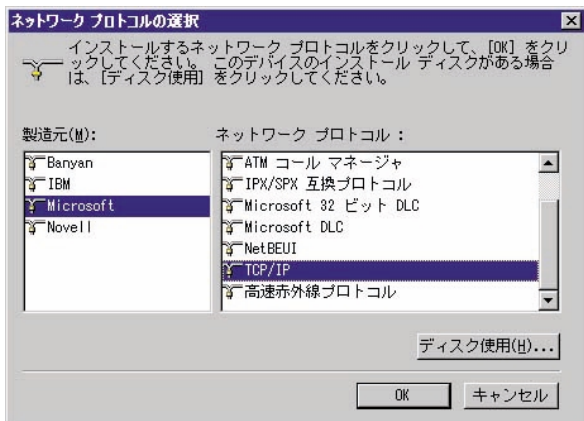
1. コンピュータにネットワークアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。ネットワークアダプタがインストールされていない場合は、ネットワークアダプタのインストールを行ってください。
2. コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」「コントロールパネル」「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。



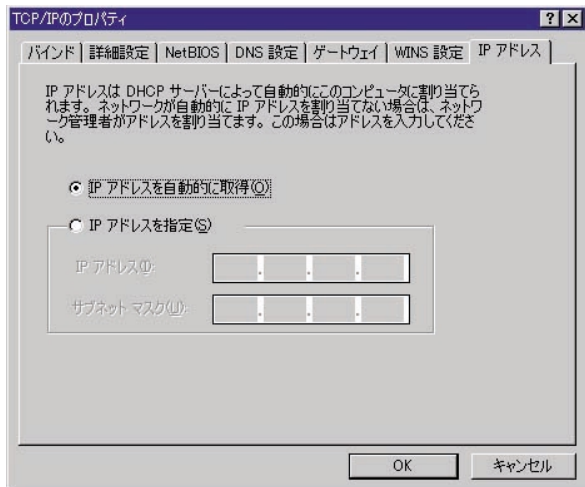
3. インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



4. ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。

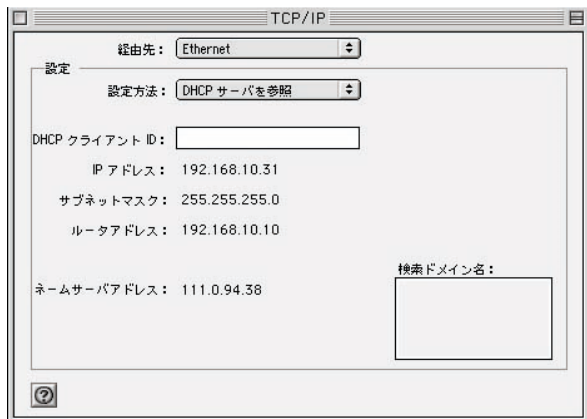


5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスを自動的に取得」オプションを選択し、コンピュータを再起動してください。



Macintosh

- 1.アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
- 2.TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



- 3.TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してください。

2. WAN側IPアドレスの設定

コンピュータの準備ができたなら、本製品のWAN側ポートにプロバイダから割当てられているIPアドレスの設定を行います。プロバイダからのIPアドレスの割当てには、固定のIPアドレスが提供される場合と、接続時にDHCPサーバから自動的にIPアドレスが割当てられる場合があります。

注意 プロバイダとの接続にPPPoE(PPP over Ethernet)またはDANAを使用する場合は、「4-4 WAN側TCP/IP設定」を参照して、PPPoE/DANA接続の設定を行ってください。PPPoE接続の場合は、付録Fも参照してください。

DHCPサーバにより自動的に割当てられる場合

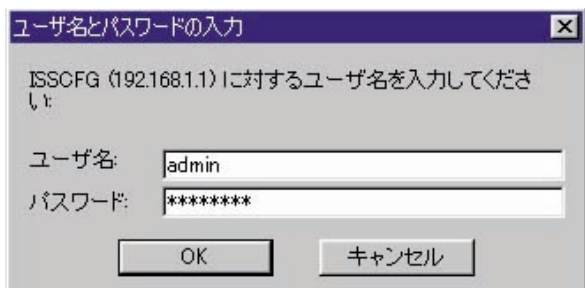
DHCPサーバにより自動的にIPアドレスが割当てられる場合は、通常は何も設定する必要はありません。

ただし、プロバイダによっては、ホスト名やドメイン名が指定されている場合があります。この場合は以下の手順でホスト名、ドメイン名の設定を行ってください。

ホスト名、ドメイン名の指定がない場合は、「3-3 接続の確認」に進んでください。

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。NetscapeまたはMicrosoft Internet Explorerのバージョン3.0以降のご使用を推奨します。

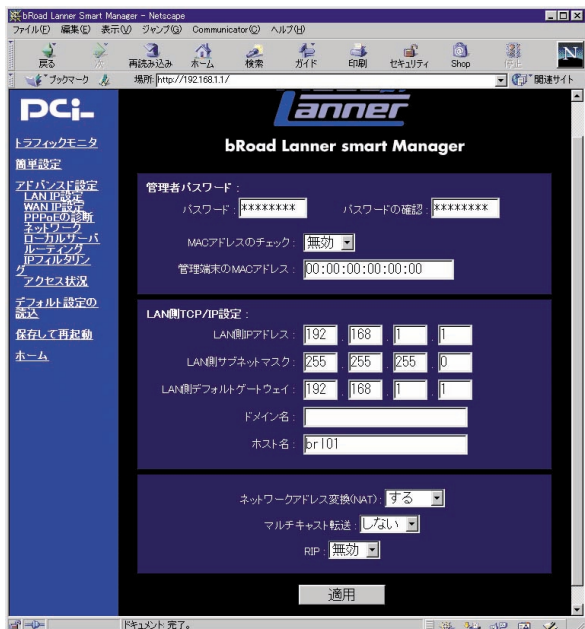
- 1.コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
- 2.WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
- 3.本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。デフォルトの管理ユーザー名「admin」と、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



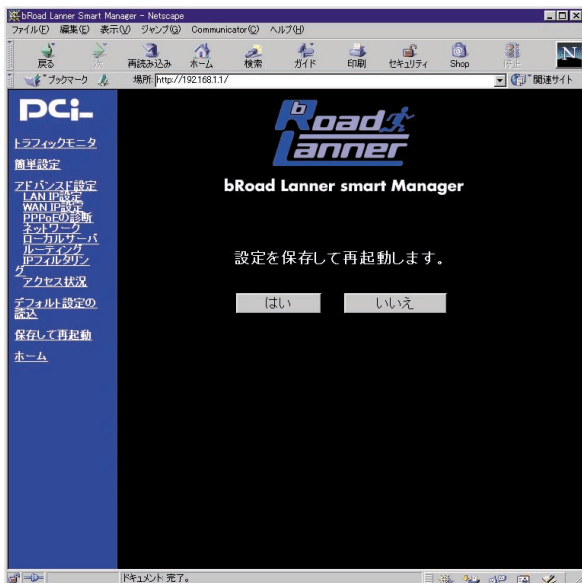
4. 本製品のメイン・セットアップメニューが表示されます。



- 5.画面左にあるメニュー内の「アドバンスド設定」をクリックし、さらに「LAN IP設定」をクリックしてください。LAN IP設定の画面が表示されます。「LAN側TCP/IP設定」内の「ドメイン名」と「ホスト名」をプロバイダから指定されたものに変更してください。指定されていない項目についてはデフォルト値のままにしておいてください。



- 6.「適用」ボタンをクリックしてください。設定を保存して再起動するかどうか確認する画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックしてください。



- 7.設定が保存され、本製品が再起動します。

固定のIPアドレスが割当てられる場合

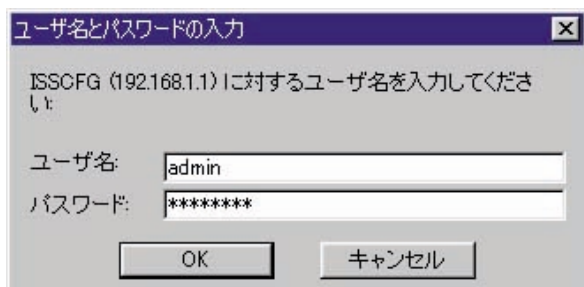
固定のIPアドレスが割当てられている場合は、以下の情報を用意してグローバルIPアドレスの設定を行ってください。

- プロバイダから割当てられているIPアドレス
- プロバイダから割当てられているサブネットマスク
- プロバイダから割当てられているゲートウェイIPアドレス
- DNS(ドメインネームサーバ)のIPアドレス
- ドメイン名(指定されている場合)
- ホスト名(指定されている場合)

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。NetscapeまたはMicrosoft Internet Explorerのバージョン3.0以降のご使用を推奨します。

1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。

3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。デフォルトの管理ユーザー名「admin」と、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



ユーザ名とパスワードの入力

ISSCFG (192.168.1.1) に対するユーザ名を入力してください

ユーザ名: admin

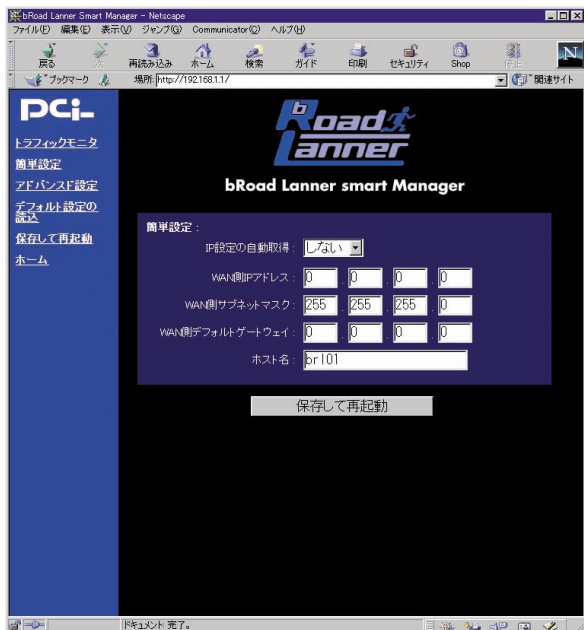
パスワード: *****

OK キャンセル

4. 本製品のメイン・セットアップメニューが表示されます。



- 5.画面左にある「簡単設定」をクリックしてください。グローバルIPアドレスの設定画面が表示されます。「IP設定の自動取得」を「しない」に設定し、以下の項目を手動で設定してください。



「WAN側IPアドレス」

プロバイダから割当てられているIPアドレスを入力してください。

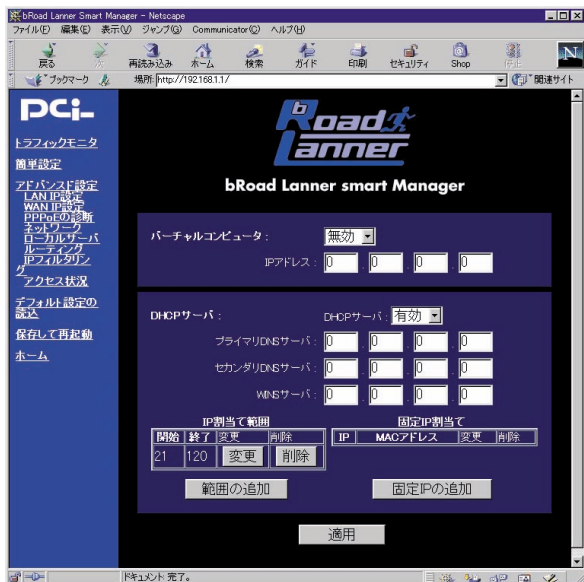
「WAN側サブネットマスク」

プロバイダから割当てられているサブネットマスクを入力してください。

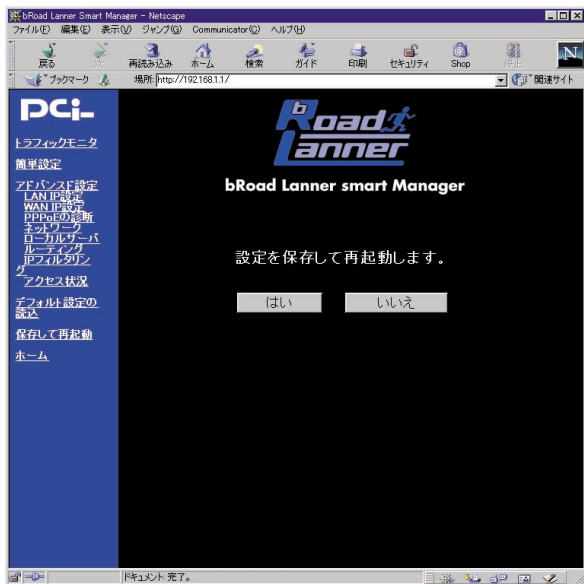
「WAN側デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから割当てられているデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力してください。

- 6.「保存して再起動」ボタンをクリックしてください。設定が保存され本製品が再起動します。
- 7.約15秒ほど待って本製品の再起動が完了したら、画面左側のメニューの「アドバンスド設定」をクリックし、さらに「ネットワーク」をクリックしてください。「プライマリDNSサーバ」にプロバイダから割当てられた、DNSサーバのIPアドレスを入力してください。セカンダリDNSサーバも割当てられている場合は「セカンダリDNSサーバ」も入力してください。



- 8.「適用」ボタンをクリックしてください。設定を保存して再起動するかどうか確認する画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックしてください。



- 9.設定が保存され、本製品が再起動します。

3. 接続の確認

コンピュータ上でWEBブラウザを起動し、任意のURLを入力し、ページが表示されるか確認してください。表示されない場合は、プロバイダから指定されている設定をよく確認して、もう一度「簡単設定」をやり直してください。それでも接続できない場合は、「付録 A トラブルシューティング」を参照してください。

注意 プロバイダによっては、インターネットに接続できる機器をMACアドレスにより管理している場合があります。このような場合は本製品の裏面に記載されているMACアドレスをプロバイダに登録しなおしてください。MACアドレスによる管理を行っているかどうか、また、MACアドレスの登録変更の方法についてはご契約先のプロバイダに確認してください。

4. アドバンスド設定

ここでは、WEBブラウザを使用して本製品の詳細設定および各機能の設定を行う手順を説明します。

注意 ここではWEBブラウザを使用した場合の操作方法を説明していますが、Telnetプログラムでも同様の設定を行うことが可能です。

注意 設定変更後には、必ず画面左側のメニューから「保存して再起動」を実行してください。「保存して再起動」を実行せずに本製品の電源を切ったり、リセットした場合、新しい設定は消去されます。

1. 設定画面を開く

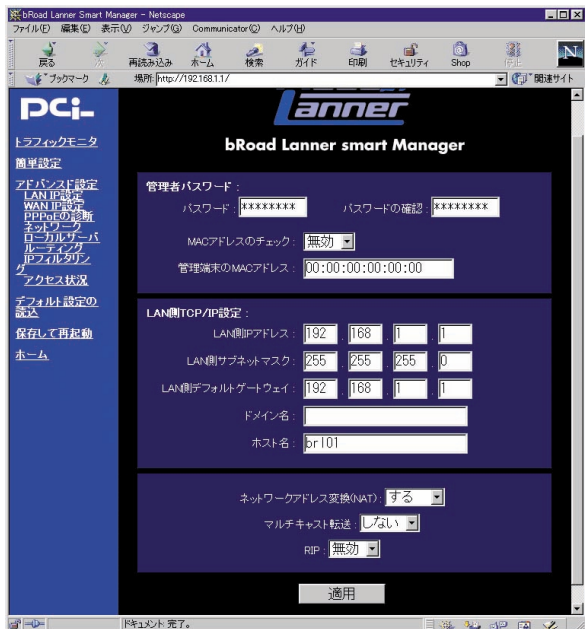
1. 本製品のLAN側ネットワークに接続したコンピュータ上でWEBブラウザを起動してください。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄(Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のLAN側ポートのIPアドレス(デフォルトでは 192.168.1.1)を入力し[Enter]キーを押してください。
3. 本製品にログインするためのユーザ名とパスワードを入力するダイアログが表示されるので入力してください。デフォルト設定では、ユーザ名は「admin」、パスワードは「password」です。

4. 本製品の設定画面が表示されます。画面左側のフレームに表示されているのが設定項目のメニューです。メニューの「アドバンスド設定」をクリックするとサブメニューが表示されます。



2. 管理者パスワードの設定

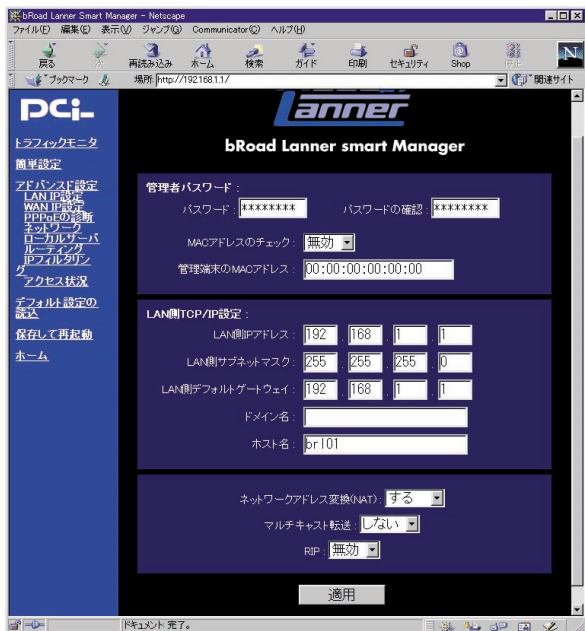
管理者パスワードの変更を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「LAN IP設定」をクリックしてください。



1. 管理者パスワードの「パスワード」と「パスワードの確認」の欄に新しいパスワードを入力し、「適用」ボタンをクリックしてください。パスワードの最大長は半角文字で8文字です。
2. ログインダイアログが表示されるので新しいパスワードを入力してログインしなおしてください。
3. 設定を保存して再起動するかどうか確認する画面が表示されるので、「はい」をクリックしてください。

3. 管理用端末の設定

本製品ではセキュリティ確保のため、パスワードのほかにMACアドレスによる管理用端末の指定が可能となっております。MACアドレスによる管理用端末のチェックを有効にすると、設定したMACアドレス以外の端末からの本製品のWEBおよびtelnet設定画面へのアクセスができなくなり、本製品の設定画面への不正ログイン/設定変更を防ぐことができます。以下の方法で設定を行ってください。



「MACアドレスのチェック」

この項目を「有効」に設定すると、MACアドレスによる管理端末のチェックを行います。

「管理端末のMACアドレス」

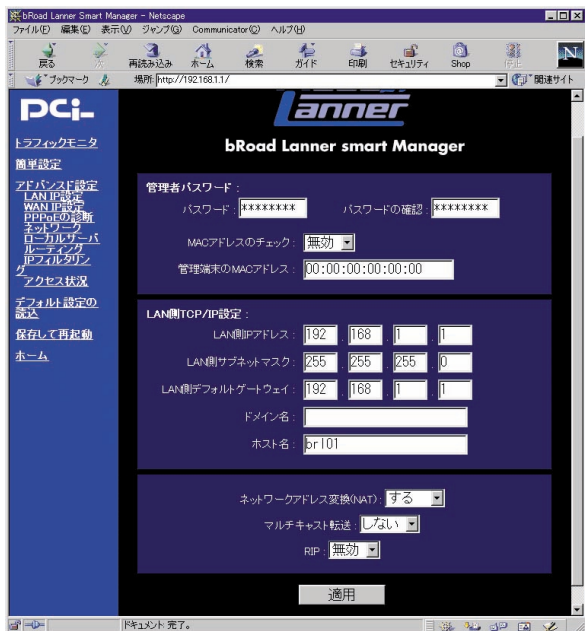
MACアドレスによる管理用コンピュータのチェックを行う場合に、管理用コンピュータのMACアドレスを入力してください。MACアドレスは12桁の16進数を2桁ずつ":"(コロン)で区切って入力してください。(例 00:90:cc:12:a4:6d)

設定が終わったら「設定」ボタンをクリックしてください。

注意 MACアドレスのチェックは「設定」ボタンをクリックした直後から有効になります。この際、間違ったMACアドレスを入力すると本製品の設定画面へのログインができなくなってしまいます。この場合、設定の保存前であれば、リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。設定の保存後であれば、「付録C デフォルト設定の復帰」を参照して工場出荷状態への復帰を行ってください。

4. LAN側TCP/IP設定

LAN側ポートのIP設定を変更するには、アドバンスド設定のサブメニューから「LAN IP設定」をクリックしてください。



「LAN側IPアドレス」

LAN側ポートに設定するIPアドレスを入力してください。

「LAN側サブネットマスク」

LAN側ポートに設定するサブネットマスクを入力してください。

「LAN側デフォルトゲートウェイ」

LAN側ネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。通常は本製品のLAN側IPアドレスを入力します。

「ドメイン名」

プロバイダによっては、ドメイン名を指定される場合があります。この場合は、ここにプロバイダから割当てられたドメイン名を入力してください。指定がない場合は、空白のままでかまいません。ここで入力したドメイン名は本製品のDHCPサーバ機能によりLAN側ポートのDHCPクライアントに対してドメインサフィックスとして設定されます。

「ホスト名」

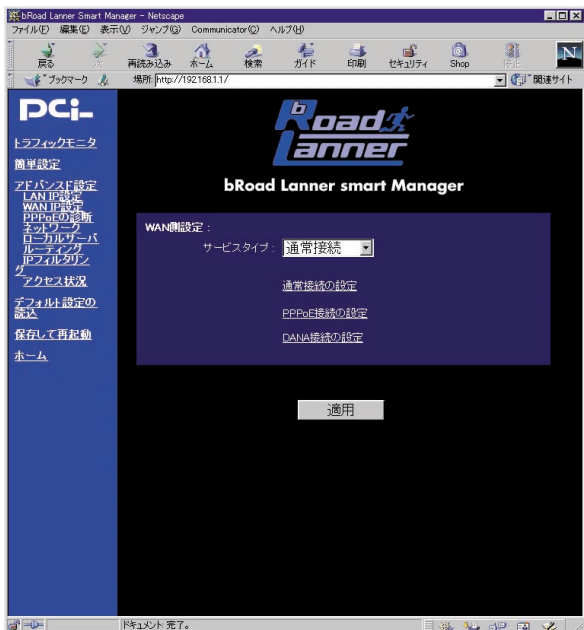
プロバイダによっては、ユーザの認証にホスト名が必要になる場合があります。この場合は、ここにプロバイダから割当てられたホスト名を入力してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

5. WAN側TCP/IP設定

WAN側ポートのIP設定を変更するには、アドバンスド設定のサブメニューから「WAN IP設定」をクリックしてください。

本製品はWAN側ポートのサービスタイプとして、通常の接続、PPPoE(PPP over Ethernet)、DANAの3種類の方法をサポートしています。プロバイダ側がPPPoEに対応している場合は「サービスタイプ」に「PPPoE接続」を選択してください。プロバイダ側がDANAに対応している場合は「サービスタイプ」に「DANA接続」を選択してください。それ以外の場合は「通常接続」を選択してください。サービスタイプを変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。



通常接続の設定

WAN側設定で「通常接続の設定」をクリックすると、通常接続の設定画面が表示されます。



「IP設定の自動取得」

WAN側ポートのIP設定をプロバイダ側のDHCPサーバから自動的に取得したい場合は「する」に設定してください。IPを手動設定する場合は「しない」に設定してください。「しない」に設定した場合は、以下の項目の設定を行ってください。

「WAN側IPアドレス」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

「WAN側サブネットマスク」

WAN側ポートに設定する、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。

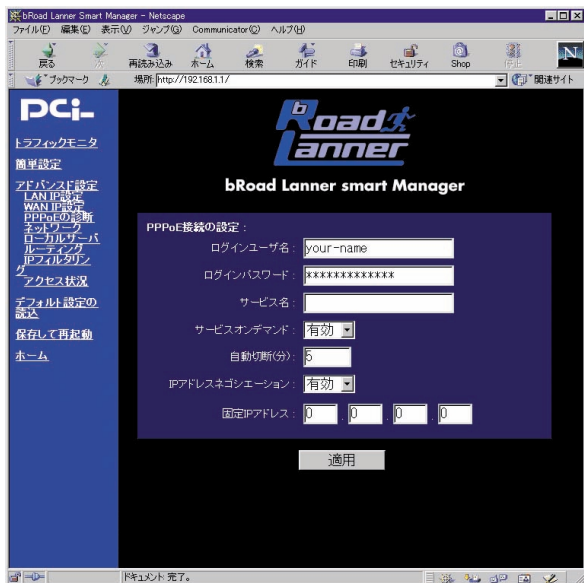
「WAN側デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから指定された、WAN側ネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

PPPoE接続の設定

WAN側設定で「PPPoE接続の設定」をクリックすると、PPPoE接続の設定画面が表示されます。



「ログインユーザ名」

ログインするためのログインユーザ名を入力してください。

「ログインパスワード」

ログインするためのパスワードを入力してください。

「サービス名」

任意のサービス名を入力してください。空白のままでもかまいません。

「サービスオンデマンド」

通常は「有効」に設定してください。

「自動切断」

無通信時のタイムアウトによる自動切断までの時間を分単位で入力してください。

「IPアドレスネゴシエーション」

IPアドレスを自動で割当てる場合は「有効」に設定してください。

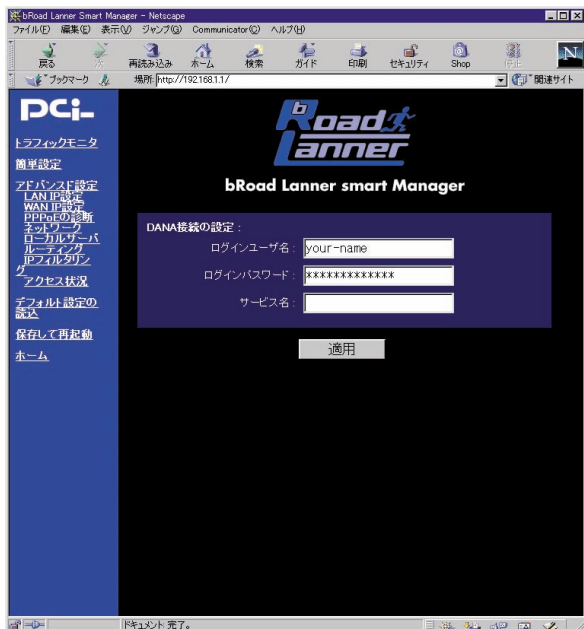
「固定IPアドレス」

固定IPアドレスが割当てられている場合は入力してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

DANA接続の設定

WAN側設定で「DANA接続の設定」をクリックすると、DANA接続の設定画面が表示されます。



「ログインユーザ名」

ログインするためのログインユーザ名を入力してください。

「ログインパスワード」

ログインするためのパスワードを入力してください。

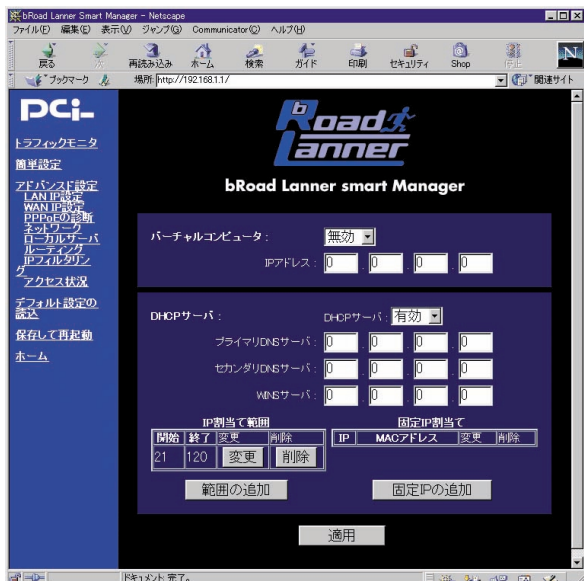
「サービス名」

任意のサービス名を入力してください。空白のままでもかまいません。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

6. DHCPサーバ機能の設定

本製品のDHCPサーバ機能の設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ネットワーク」をクリックしてください。



「DHCPサーバ」

LAN側ポートのプライベートLAN上のコンピュータに対して、本製品のDHCPサーバ機能によってIP設定を自動的に割当てて場合は、「有効」に設定してください。DHCPサーバ機能を使用しない場合は「無効」に設定してください。

「プライマリDNSサーバ」

DHCPサーバ機能により割当て、DNSサーバのIPアドレスを入力してください。WAN側のIP設定をプロバイダから自動取得している場合は、自動的に設定されます。

「セカンダリDNSサーバ」

DHCPサーバ機能により割当て、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力してください。WAN側のIP設定をプロバイダから自動取得している場合は、自動的に設定されます。

「WINSサーバ」

DHCPサーバ機能によってWINSサーバのIPアドレスを自動的に割当てたい場合は、WINSサーバのIPアドレスを入力してください。WINSを使用しない場合は、0.0.0.0を入力してください。

「IP割当て範囲」

DHCPサーバ機能によって、割当てられるIPアドレスの範囲が表示されます。範囲を追加したい場合は「範囲の追加」ボタンをクリックしてください。設定を変更または削除したい場合は、「変更」/「削除」ボタンをクリックしてください。IP割り当て範囲は4個まで設定可能です。

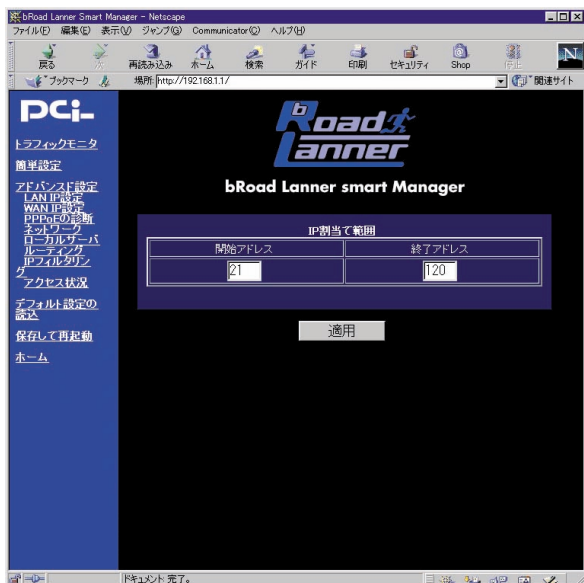
「固定IP割当て」

固定IP割当ての設定を表示します。通常DHCPサーバからIPを割当てる場合、どのIPアドレスが割当てられるかは決まっていません。固定IP割当てを使用すると特定のコンピュータ(MACアドレス)に対して特定のIPアドレスを割当てさせることができます。固定IPを追加したい場合は「固定IPの追加」ボタンをクリックしてください。設定を変更または削除したい場合は、「変更」/「削除」ボタンをクリックしてください。固定IP割当ては16個まで設定可能です。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

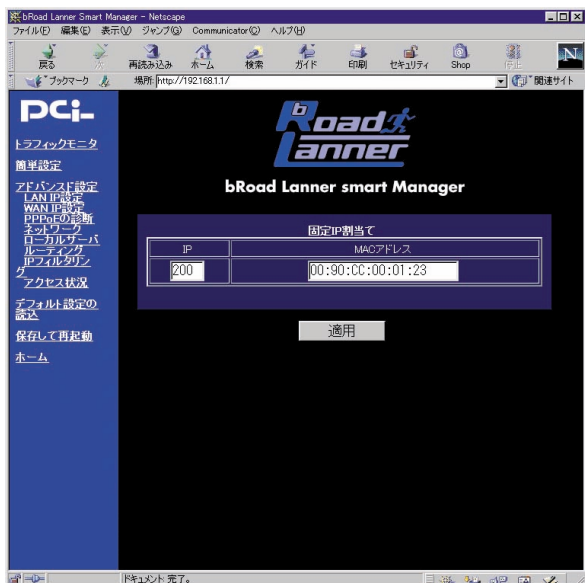
注意 DHCPサーバ機能を「無効」に設定した場合は、プライベートLAN上のすべてのコンピュータのIPアドレスを手動で設定してください。

IP割当て範囲の追加/変更



追加または変更したいIP割当て範囲の「開始アドレス」と「終了アドレス」を入力して、「適用」ボタンをクリックしてください。開始/終了アドレスは「.」（ドット）で区切られた4つの数字のうちの、最後の1つだけを入力してください。

固定IP割当ての追加/変更



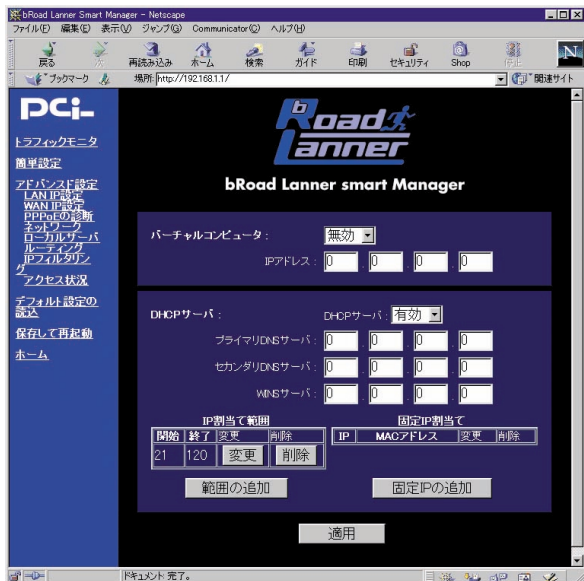
固定割当てしたいIPアドレスを「IP」に、その機器のMACアドレスを「MACアドレス」に入力して、「適用」ボタンをクリックしてください。IPは「.」（ドット）で区切られた4つの数字のうちの、最後の1つだけを入力してください。MACアドレスは、12桁の16進数で、2桁ずつ「:」（コロン）で区切って入力してください。

7. バーチャルコンピュータ機能

バーチャルコンピュータ機能とは、プライベートLAN上の特定のコンピュータをインターネット上からアクセス可能にする機能です。プライベートLAN上のいずれか1台のコンピュータをバーチャルコンピュータとして登録することが可能です。

インターネットからの、本製品のWAN側ポートに割り当てられたIPアドレスへのパケットはすべてバーチャルコンピュータに転送されます。

バーチャルコンピュータの設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ネットワーク」をクリックしてください。



「バーチャルコンピュータ」

「有効」に設定すると、バーチャルコンピュータ機能が使用可能となります。「無効」に設定した場合、バーチャルコンピュータ機能は使用できません。

「IPアドレス」

バーチャルコンピュータに設定したい、プライベートLAN上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。

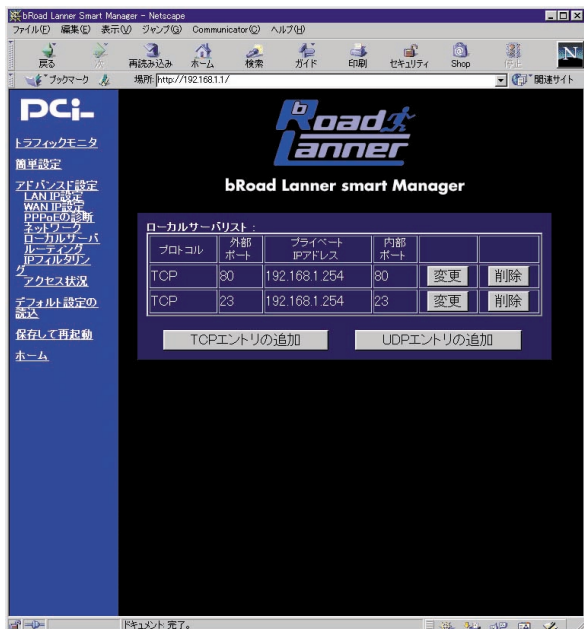
設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

8. ローカルサーバ機能

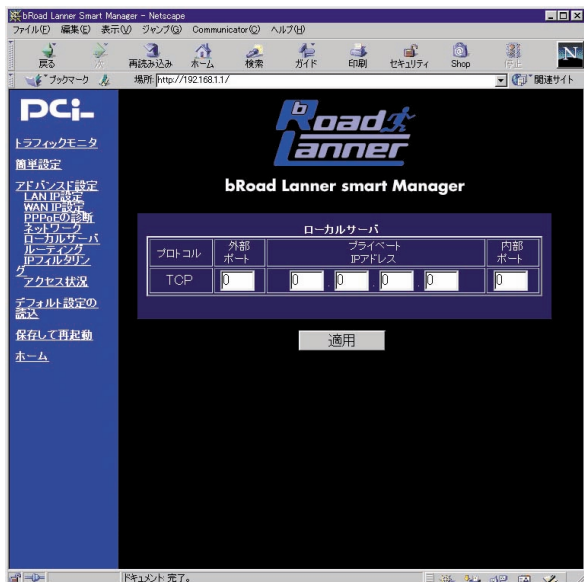
ローカルサーバ機能とは、プライベートLAN上にある特定のサーバを、インターネット上からアクセス可能にする機能です。ローカルサーバ機能では、バーチャルコンピュータ機能とは異なり、TCP/UDPのポート番号ごとにプライベートLAN上のコンピュータを割り当てることが可能です。

たとえば、プライベートLAN上のサーバでFTPサービスを提供したい場合、FTPサービスのポート番号(TCPポート20/21)を、このFTPサーバのIPアドレスに割り当てます。すると、本製品のWAN側IPアドレスに対してFTP(TCPポート20/21)のアクセスが来ると自動的にプライベートLAN上のFTPサーバにパケットが転送されます。

ローカルサーバの設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ローカルサーバ」をクリックしてください。



設定されているローカルサーバのリストが表示されます。TCPプロトコルのエントリを追加したい場合は「TCPエントリの追加」ボタンを、UDPプロトコルのエントリを追加したい場合は「UDPエントリの追加」ボタンをそれぞれクリックしてください。ローカルサーバはTCPポートに対しては8個まで、UDPポートに対しては4個まで設定可能です。



「プロトコル」

TCPまたはUDPが表示されます。

「外部ポート」

転送させたいパケットのポート番号を入力してください。例えば、WEBサーバであれば「80」を入力します。

「プライベートIPアドレス」

パケットを転送する、プライベートネットワーク上のコンピュータのIPアドレスを入力してください。

「内部ポート」

転送先のコンピュータでのポート番号を入力してください。通常は外部ポートと同じ番号を入力します。

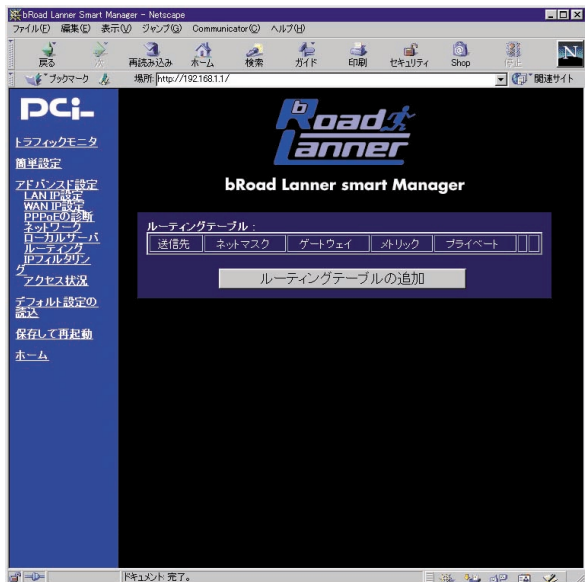
設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

9. ルーティングテーブル

本製品では、ルーティングテーブルにルーティング情報を追加することが可能です。

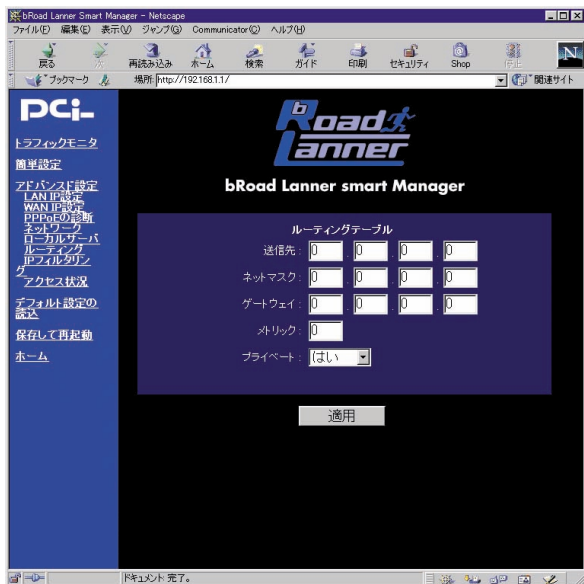
注意 新規にルーティング情報を定義するには、TCP/IPについてのより高度な知識が要求されます。間違ったルーティング情報を定義すると、IPネットワーク全体の通信が止まってしまう恐れもあります。ルーティング情報の定義を行う前に、ネットワーク管理者と相談し、追加するルーティング情報に問題が無いかよく確認してください。

ルーティング情報の定義を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「ルーティング」をクリックしてください。



現在定義されているルーティングテーブルが表示されます。新たにルーティング情報の定義を行いたい場合は「ルーティングテーブルの追加」ボタンをクリックしてください。ルーティングテーブルは5個まで設定可能です。

ルーティングテーブルの追加



「送信先」

送信先ホストのIPアドレスまたは送信先のネットワークアドレスを入力してください。

「ネットマスク」

送信先のネットマスクを入力してください。

「ゲートウェイ」

送信先アドレスへのゲートウェイのIPアドレスを入力してください。

「メトリック」

メトリックを入力してください。メトリックには0から16の値が設定可能です。送信先に対して複数の経路がある場合より低いメトリック値を持つ方の経路が優先されます。

「プライベート」

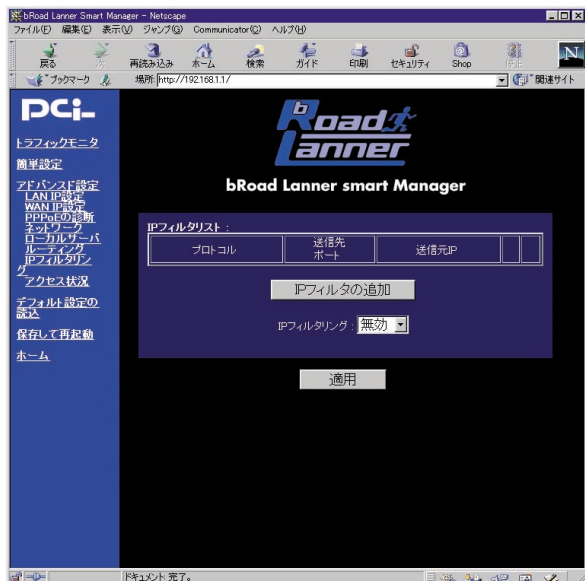
定義したルーティング情報(RIP)をブロードキャストさせたくない場合は、「はい」を選択してください。

設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

10. IPフィルタリング

IPフィルタリング機能では、プライベートLAN上のユーザのWEBの参照やE-mailなどのインターネットサービスの使用制限を行うことが可能です。また、特定のユーザのみこれらのサービスを使用できないように設定することも可能です。

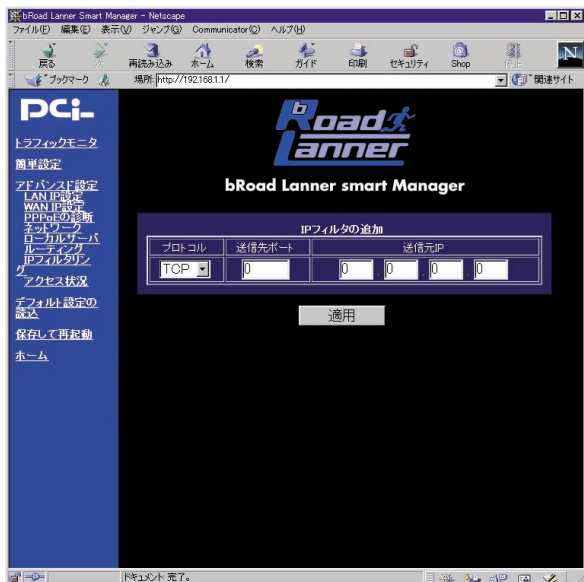
デフォルトでは、IPフィルタリング機能は無効に設定されています。IPフィルタリング機能の設定を行うには、アドバンスド設定のサブメニューから「IPフィルタリング」をクリックしてください。



現在設定されている、IPフィルタのリストが表示されます。代表的なサービスについては送信先ポートは番号ではなくサービス名で表示されます。IPフィルタの追加を行いたい場合は「IPフィルタの追加」ボタンをクリックしてください。IPフィルタリング機能を有効にしたい場合は「IPフィルタリング」を「有効」に設定してください。無効にしたい場合は「無効」に設定してください。設定を変更した場合は「適用」ボタンをクリックしてください。

IPフィルタの追加

「IPフィルタの追加」ボタンをクリックすると、IPフィルタの追加画面が表示されます。IPフィルタは16個まで設定可能です。



「プロトコル」

フィルタリングするパケットのプロトコルを「TCP」、「UDP」から選択してください。

「送信先ポート」

フィルタリングするパケットのポート番号を入力してください。

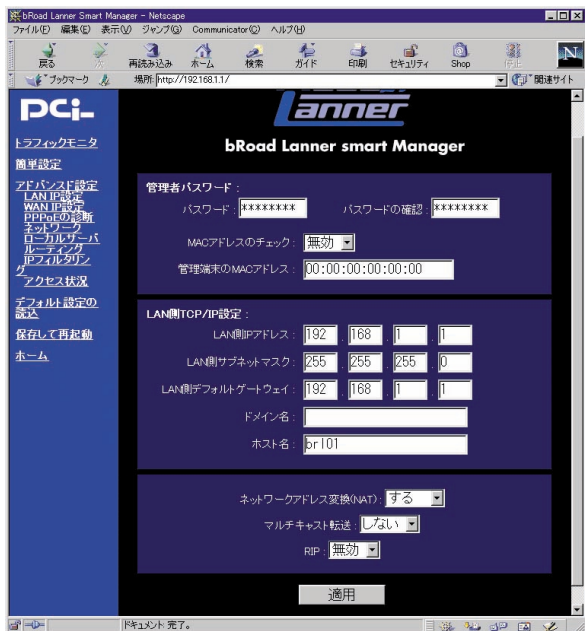
「送信元IP」

プライベートLAN上の特定のコンピュータのみフィルタリングしたい場合は、そのコンピュータのIPアドレスを入力してください。「0.0.0.0」を入力するとプライベートLAN上のすべてのコンピュータのアクセスがフィルタリングされます。

「適用」ボタンをクリックすると、フィルタが追加されます。

11. その他の設定

アドバンスド設定のサブメニューの「LAN IP設定」で、ネットワークアドレス変換(NAT)、マルチキャスト転送、RIPの設定を行うことが可能です。



ネットワークアドレス変換(NAT)

NAT機能の有効/無効を切り替えます。本製品をxDSL/ケーブルモデムを使用したインターネット接続に使用する場合は、必ず「する」に設定してください。

マルチキャスト転送

マルチキャスト転送の有効/無効を切り替えます。マルチキャスト転送を行いたい場合は、「する」に設定してください。

RIP

本製品からのRIPパケットの転送の有効/無効を切り替えます。RIPパケットの転送を行いたい場合は「有効」に設定してください。

12. トラフィックモニタ

画面左のメニューから「トラフィックモニタ」をクリックすると、本製品のLAN側およびWAN側ポートそれぞれのIPアドレス、送受信したパケット数、エラーパケット数などの情報を確認できます。また、PPPoE接続の場合は接続時間も表示されます。トラフィックモニタの表示は、10秒ごとに更新されます。

The screenshot shows the bRoad Lanner Smart Manager web interface in a Netscape browser window. The address bar shows the URL http://192.168.1.1/. The left sidebar contains a menu with the following items: **トラフィックモニタ** (Traffic Monitor), **簡単設定** (Easy Setup), **アドバンスド設定** (Advanced Settings), **LAN IP設定** (LAN IP Settings), **WAN IP設定** (WAN IP Settings), **PPPoEの診断** (PPPoE Diagnosis), **ネットワーク** (Network), **ローカルサーバ** (Local Server), **ルーティング** (Routing), **IPフィルタリング** (IP Filtering), **アクセス状況** (Access Status), **デフォルト設定の確認** (Check Default Settings), **保存して再起動** (Save and Restart), and **ホーム** (Home).

The main content area displays the **bRoad Lanner smart Manager** logo and the title **トラフィックモニタ**. It shows statistics for two ports: LAN側ポート (LAN Side Port) and WAN側ポート (WAN Side Port).

LAN側ポート : [192.168.1.1]

受信		送信	
受信バイト数	317963	送信バイト数	1630432
受信パケット数	2538	送信パケット数	2975
廃棄パケット数	0		
エラーパケット数	0	エラーパケット数	0

WAN側ポート : [192.168.0.33] PPPoE接続時間 : 0 秒

受信		送信	
受信バイト数	1499164	送信バイト数	224312
受信パケット数	4148	送信パケット数	1642
廃棄パケット数	0		
エラーパケット数	0	エラーパケット数	0

The status bar at the bottom of the browser window shows "ドキュメント 完了。" (Document completed.)

13. アクセス状況の表示

画面左のメニューのアドバンスド設定のサブメニューから「アクセス状況」をクリックすると、プライベートLAN上のコンピュータのインターネットへのアクセス状況が表示されます。

PCi-
トラフィックモニタ
簡単設定
アドバンスド設定
LAN IP設定
WAN IP設定
PPPoEの診断
ネットワーク
ローカルサーバ
ルーティング
IPフィルタリング
アクセス状況
デフォルト設定の確認
保存して再起動
ホーム

Road Lanner
bRoad Lanner smart Manager

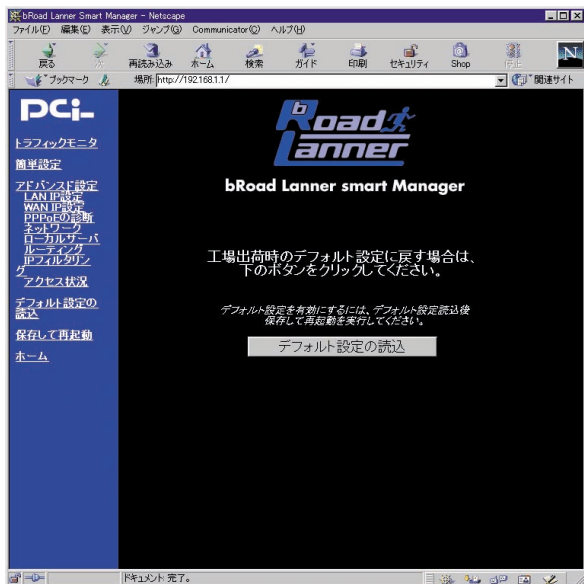
アクセス状況の表示:

送信元 アドレス	送信先 アドレス	ポート
192.168.130	203.193.255.190	80

ドキュメント 完了。

14. デフォルト設定の読込

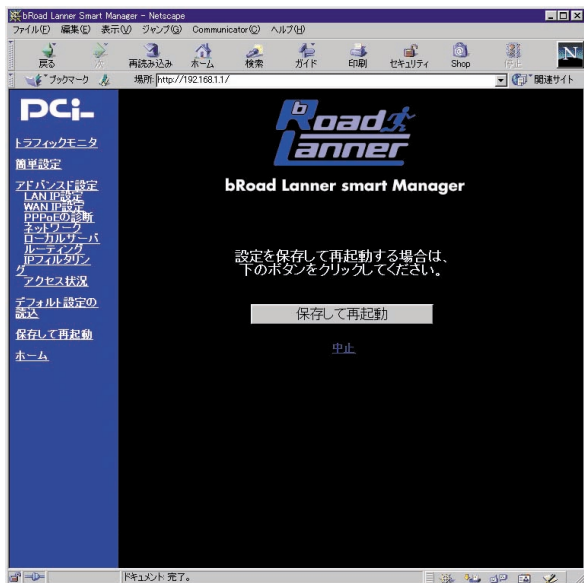
「デフォルト設定の読込」で、本製品の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことが可能です。「デフォルト設定の読込」をクリックして表示される画面の「デフォルト設定の読込」ボタンをクリックするとデフォルト設定が読み込まれます。デフォルト設定を有効にするには、「保存して再起動」を実行してください。



15. 設定の保存

設定の変更は、設定を保存して本製品を再起動するまで有効にはなりません。本製品の設定を変更した後は、必ず「保存して再起動」を実行してください。

画面左側の「保存して再起動」をクリックして表示される画面で、「保存して再起動」ボタンをクリックすると設定が保存され本製品が再起動します。保存を中止したい場合は、「中止」をクリックしてください。



付録A. トラブルシューティング

Power LEDが点灯しない

- ・本製品付属のACアダプタを使用していますか？
- ・ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
- ・ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN LEDが点灯しない

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWANポートおよびxDSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・xDSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

LAN LEDが点灯しない

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLANポートおよびハブ(コンピュータ)のRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・ハブ(コンピュータ)の電源は入っていますか？
- ・ツイストペアケーブルの種類(ストレートまたはクロス)は合っていますか？

WEB設定画面が表示されない

- ・コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作していますか？コンピュータまたはネットワークアダプタのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。
- ・コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPを自動取得(DHCPを使用)する設定にしてください。
- ・使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示(ツール)」「インターネットオプション」「接続」、Netscapeでは「編集」「設定」「詳細」にプロキシの設定項目があります。

インターネットにアクセスできない

- ・WAN側のIP設定が間違っている可能性があります。プロバイダから受け取っているIP設定の資料をよく確認し、「4-4 WAN側TCP/IP設定」をやり直してください。
- ・IPフィルタが設定されていませんか？IPフィルタの設定を確認してください。

インターネット(WAN)からの設定画面へのログインを禁止したい

- ・ローカルサーバ機能を使用して、インターネット(WAN側)からの本製品のWEBおよびtelnet設定画面へのアクセスを禁止することができます。WEBおよびtelnetのポート番号(80、23)をプライベートLAN上で使用していないIPアドレスに割り当ててください。本製品のデフォルト設定では、ポート80、23とも192.168.1.254に割り当てられています。

パスワードを忘れてしまった

- ・ 本製品の管理者パスワードを忘れてしまい、設定画面にログインできなくなってしまった場合は、「付録C デフォルト設定の復帰」を参照し、本製品を工場出荷時の状態に戻してください。

MACアドレスがわからない

- ・ 本製品のMACアドレスは本体底面のシールに印刷されています。
Node ID : の後の12桁の文字列が本製品のMACアドレスです。

付録B. ファームウェアのアップデート

本製品はファームウェアをフラッシュROMに搭載しており、ファームウェアのアップデートが行われた場合に、簡単にアップデートが可能です。ファームウェアは、弊社ホームページ上(<http://www.planex.co.jp/>)からダウンロードしてください。

注意 アップデートに使用するコンピュータは、必ず本製品のプライベートLAN上に接続してください。また、アップデートに使用する以外のコンピュータおよびWAN側のxDSL/ケーブルモデムを外しておいてください。

ファームウェアのファイルをホームページからダウンロードしたら、以下の手順でアップデートを行ってください。

WindowsNT/2000でのアップデート

1. 本製品のプライベートLAN上に接続したコンピュータで、「スタート」メニューの「プログラム」から「コマンドプロンプト」を実行してください。
2. ダウンロードしたファームウェアのファイル(*.bin)を現在のディレクトリにコピーしてください。
3. コマンドプロンプトで以下のように入力してください。ファームウェアの転送が開始されます。

tftp 本製品のLAN側IPアドレス get upgrade

BRL-01Nの場合

tftp -i 本製品のLAN側IPアドレス put igate.bin

BRL-04の場合

tftp -i 本製品のLAN側IPアドレス put bhipgate.bin

- 4.しばらくして、「Transfer Succesful」というメッセージが表示されれば、アップデートは成功です。

注意 ファームウェアのアップデートに失敗するとStatusLEDが点滅し続けます。この場合は本製品の電源を切ったり、再起動を行ったりせずにもう一度上記手順3のコマンドを実行してみてください。それでもファームウェアのアップデートが成功しない場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

UNIXでのアップデート

- 1.ルート (root) でログインしてください。
- 2.現在のディレクトリにダウンロードしたファイル (*.bin) をコピーしてください。
- 3.コマンドプロンプトから以下のコマンドを入力してください。

tftp 本製品のLAN側IPアドレス

- 4.TFTPプロンプトで以下のコマンドを入力してください。

get upgrade
binary

BRL-01Nの場合

put igate.bin

BRL-04の場合

put bhipgate.bin

5.しばらくして、ファイル転送が終了したらアップデートは完了です。

6.TFTPを終了してください。

注意 ファームウェアのアップデートに失敗するとStatusLEDが点滅し続けます。この場合は、本製品の電源を切ったり、再起動を行ったりせずにもう一度上記手順4のコマンドを実行してみてください。それでもファームウェアのアップデートが成功しない場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

付録C. デフォルト設定の復帰

本製品のログインパスワードやIPアドレスを忘れてしまった場合や、不正なIPフィルタを追加してしまったなどの理由で、本製品のWEB設定画面にログインできなくなってしまった場合は、以下の手順で本製品を工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。

1. 電源コードを外し本製品の電源を切ってください。
2. 本体背面のリセットスイッチを押したままの状態、電源ケーブルを接続し電源を入れてください。Status LEDが点滅を開始します。
3. そのまま、リセットスイッチを約10秒間(Status LEDの点滅が終了するまで)押し続けてください。10秒たったらスイッチを離してください。
4. リセットスイッチを約1秒間(Status LEDが点滅を開始するまで)押してください。Status LEDが3回点滅します。このとき工場出荷時のデフォルト設定が読み込まれます。
5. 続いて、本製品は自動的に再起動します。このとき、Status LEDが7回(BRL-04は8回)点滅します。

付録D. デフォルト設定

本製品の工場出荷時のデフォルト設定は以下のようになっています。デフォルト設定の読み込みを行った場合も、以下の設定が読み込まれます。

項目		設定内容
LAN側	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DHCPサーバ	DHCPサーバ	有効
	DHCP IP割当て範囲	21 ~ 120
	DHCP固定IP割当て	なし
	プライマリDNS	0.0.0.0
	セカンダリDNS	0.0.0.0
	WINSサーバ	0.0.0.0
WAN側	IPアドレス	0.0.0.0
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	サービスタイプ	通常接続
	DHCPクライアント	有効
パスワード		password
管理端末のチェック		無効
管理端末のMACアドレス		00:00:00:00:00:00
ドメイン名		未設定
ホスト名		brl01
NAT		有効
マルチキャスト転送		無効
RIP		無効
ローカルサーバ		ポート80、192.168.1.254
		ポート23、192.168.1.254
バーチャルコンピュータ		なし
ルーティングテーブル		なし
IPフィルタリング		なし

付録E.telnet設定

本製品をtelnetを使用して設定する場合の設定メニューのメニュー構成について説明します。

< 0.General Information メニュー >

1.Supervisor Password

パスワードの変更

2.Check MAC Address

MACアドレスによる管理端末のチェック

3.Supervisor's MAC Address

管理端末のMACアドレス

4.Local IP Address

LAN側IPアドレス

5.Local Subnet Mask

LAN側サブネットマスク

6.Default Gateway

デフォルトゲートウェイ

7.Host Name

ホスト名

8.Multicast Forwarding

マルチキャスト転送

9.Domain Name

ドメイン名

< 1.WAN Port Setupメニュー >

1.Service Type

WAN側サービスタイプの変更

2.Regular Service Setup

通常接続の設定

3.PPPoE Service Setup

PPPoE接続の設定

4.Alcatel DANA Service Setup

DANA接続の設定

< 2.DHCP Server Setupメニュー >

1.Using DHCP Server

DHCPサーバの有効/無効

2.Domain Name Server IP

プライマリDNSのIPアドレス

3.Secondary DNS Server IP

セカンダリDNSのIPアドレス

4.WINS IP

WINSサーバのIPアドレス

5.Dynamic-IP Range Setup

IP割当て範囲の設定

6.Fixed IP Table Setup

固定IP割当ての設定

< 3. Local Server Setupメニュー >

ローカルサーバの設定

< 4. Internet Visual Computer Setupメニュー >

1. WAN Port Visual Computer

バーチャルコンピュータのIPアドレス

2. Using Visual Computer

バーチャルコンピュータの有効/無効

< 5. Access Control List Setupメニュー >

1. Add a New Entry

IPフィルタの追加

2. Delete an Old Entry

IPフィルタの削除

3. Using Access Control List

IPフィルタリングの有効/無効

< 6. Static Route Setupメニュー >

1. Add a New Entry

ルーティング情報の追加

2. Delete an Old Entry

ルーティング情報の削除

< 7. Service Diagnosticメニュー >

1. Connect Service

PPPoEの接続テスト

2. Disconnect Service

PPPoEの切断

3. PING Host

pingの実行

< 8. Internet Spyメニュー >

アクセス状況の表示

< 9. Save and Restartメニュー >

保存して再起動

< 10. Load the default valueメニュー >

デフォルト設定の読み込み

< 11. Exit Setup >

設定画面からのログアウト

付録 F. PPPoE 接続での導入手順

本製品をNTT東日本/NTT西日本が回線提供する「フレッツ・ADSL」サービスや、東京めたりく通信の「Single」サービスなどの、PPPoE接続を利用した高速インターネットサービスで使用する場合は、以下の内容をよく読んで本製品の設定を行ってください。

1. PPPoE とは

PPPoE(Point to Point Protocol over Ethernet)とは、ダイヤルアップ接続で一般的に用いられているPPP(Point to Point Protocol)接続をEthernet上で実現する方式です。通常、インターネット常時接続ではネットワーク設定に関する技術的な知識を必要としますが、PPPoE接続では、基本的にユーザー名とパスワードの設定だけで簡単にインターネットに接続できます。

PPPoEクライアントソフトウェアを使った接続/切断

PPPoEでは、ダイヤルアップ接続で利用されてきたPPPと同様に、イーサネット上でユーザIDとパスワードを使って契約プロバイダへの接続/ユーザ認証を行います。ただし、ダイヤルアップ接続でのPPPと違い、コンピュータにPPPoE接続のための専用のソフトウェア(NTTや各プロバイダから提供予定)をインストールする必要があります。

接続台数

通常、1つの契約(1セッション)には1個のIPアドレスしか割り当てられないため、1台のコンピュータしかインターネットに接続できません。

2.PPPoEクライアント機能について

PPPoE接続ソフト不要

本製品自身がPPPoEクライアントとしてプロバイダとのPPPoEセッションを確立します。プロバイダから提供されるPPPoE接続ソフトウェアをコンピュータにインストールする必要はありません。

自動接続

コンピュータからインターネットへの接続要求が発生した場合に、本製品が自動的にプロバイダに接続します。

無通信時の自動切断

インターネット側との通信が設定した時間(分単位)なかった場合、自動的に接続を切断します。

複数のコンピュータから同時にインターネット接続

NAPT(IPマスカレード)機能により、1台分の契約で、複数のコンピュータから同時にインターネット接続が可能です。

3.動作確認済みサービス

以下のPPPoE接続採用インターネットサービスで、本製品の正常動作を確認しております。

NTT東日本/NTT西日本

フレッツ・ADSL

東京めたりっく通信

Single640 / Single1600

フレッツ・ADSLは、NTT東日本(東日本電信電話株式会社)およびNTT西日本(西日本電信電話株式会社)が回線を提供するサービスです。実際のインターネット契約・サービス提供は、お客様と各プロバイダとの間で結ばれますのでご注意ください。

4. 設定手順

1. WEBブラウザを起動し、WEBブラウザのURLを入力する欄（Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のIPアドレス（デフォルト値は「192.168.1.1」）を入力し、Enterキーを押してください。
2. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。管理ユーザー名「admin」と、パスワード（デフォルト値は「password」）を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
3. ブラウザ画面の左側のメニューから、「アドバンスド設定」を選択し、さらに表示されるメニューから「WAN IP設定」を選択してください。
4. 「サービスタイプ」リストボックスから、「PPPoE接続」を選択し、「適用」ボタンをクリックしてください。
5. 設定を保存して再起動するかどうか確認する画面が表示されるので、もう一度、ブラウザ画面の左側のメニューから、「アドバンスド設定」「WAN IP設定」を選択してください。
6. 「PPPoE接続の設定」を選択してください。
7. 以下の項目を設定してください。

「ログインユーザー名」
PPPoEで接続するためのユーザー名（アカウント名）を入力してください。

「ログインパスワード」
PPPoEで接続するためのパスワードを入力してください。

「サービス名」
プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を入力してください。指定されていない場合は空欄のままでかまいません。

「サービスオンデマンド」

LAN側ポートに接続されているコンピュータから、インターネットへの接続要求があった場合に自動的にPPPoEの接続を行うかどうかを設定します。

「有効」に設定すると自動接続を行います。

「無効」に設定した場合、自動接続は行いません。接続を行うには設定画面(「アドバンスド」「PPPoE接続の診断」)で「接続」ボタンをクリックしてください。

ご利用のインターネットサービスが定額料金制の場合は、「有効」に設定することを推奨します。

「自動切断」

インターネットとの通信がない場合に、PPPoE接続を自動的に切断するまでの時間を分単位で設定します。“0”を設定した場合自動切断を行いません。

「IPアドレスネゴシエーション」

PPPoE接続時にプロバイダから自動的にIPアドレスが割り当てられる場合は、「有効」に設定してください。固定のIPアドレスが指定されており、PPPoE接続時にIPアドレスが割り当てられない場合は、「無効」に設定し、次の「固定IPアドレス」欄にIPアドレスを入力してください。

「固定IPアドレス」

固定IPアドレスが指定されている場合、指定されたIPアドレス入力してください。

8.「適用」ボタンをクリックしてください。設定を保存して再起動するかどうか確認する画面が表示されるので、「はい」をクリックしてください。

5. プロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアについて

上記設定後はコンピュータにPPPoE接続ソフトをインストールする必要はありません。インストールしてある場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を無効にしてください。

注意 NTTの「フレッツ・ADSL」サービス、東京めたりっく通信の「Single」サービスにおける、本製品の動作に関しては、弊社が保証およびサポートを行います。NTT東日本、NTT西日本、東京めたりっく通信や各プロバイダへの本製品に関するお問い合わせはご遠慮ください。

付録 G.仕様

BRL-01N

< 準拠する標準 >

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

< ポート >

LAN側 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 × 1ポート

WAN側 10BASE-T RJ-45 × 1ポート

< LED >

Power、Status、WAN Link、LAN Link

< 入力電源 >

DC 6V、800mA

< 消費電力 >

最大5W

< 外形寸法 (W × D × H) >

169 × 115 × 35mm

< 重量 (本体のみ) >

240g

< 環境 >

動作温度 0 ~ 40

動作湿度 35 ~ 85%

< EMI >

CE、FCC ClassA

BRL-04

< 準拠する標準 >

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

< ポート >

LAN側 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 スイッチ × 4ポート

WAN側 10BASE-T RJ-45 × 1ポート

< LED >

Power、Status、WAN Link、LAN Link/Act

< 入力電源 >

DC 9V、1000mA

< 消費電力 >

最大9W

< 外形寸法(W × D × H) >

185 × 99 × 32mm

< 重量(本体のみ) >

250g

< 環境 >

動作温度 0 ~ 40

動作湿度 35 ~ 85%

< EMI >

CE、FCC ClassA



BRL-01/BRL-01N/BRL-04 ファームウェアバージョン5.XX.62p 補足マニュアル

BROADBAND ROUTER

本製品のファームウェアバージョン5.XX.62pより、新機能が追加されました。このマニュアルは付属マニュアルに記載されていない事項について説明いたします。5.XX.62pへファームウェアをバージョンアップされた場合は、本製品付属マニュアルとあわせて本補足マニュアルを参照してください。

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



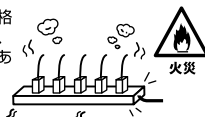
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



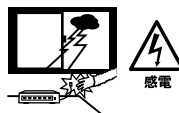
液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

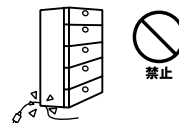
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

- ・直射日光のあたる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	
1. はじめに	4
2. PPPoE接続時の切断手順について	4
3. WWW 設定画面へのアクセス	4
2. 簡易インターネット接続設定	
1. 簡単インターネット設定	5
2. 通常のPPPoE接続	6
3. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス	9
4. PPPoE複数IPアドレス LAN型接続	11

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

1 はじめに

1. はじめに

本製品はWWWブラウザ経由およびTELNET経由の2つの設定方法があります。このマニュアルではファームウェアバージョン5.XX.62pで追加及び変更されたWWWブラウザ経由の設定方法を説明しています。5.XX.62p 以前のファームウェアをご利用の場合には、製品付属のマニュアルを参照してください。

2. PPPoE接続時の切断手順について

PPPoE 接続した場合、WWW 設定画面の切断手順を踏まずに、ケーブルの取り外しや電源断などを行うとPPPoEセッションがサーバ側に残った状態になります。この状態に陥ると10～20分再接続できなくなりますのでご注意ください。その場合は時間を置いてから再接続をしてください。

3. WWW設定画面へのアクセス

WWW 設定画面へのアクセス方法は、本製品付属マニュアルを参照してください。

2 簡易インターネット接続設定

ファームウェアバージョン5.XX.62pから基本的な設定のみでインターネットに接続する方法を追加しました。ここでは必要最小限の設定でインターネットに接続する方法について説明します。ご利用のインターネット接続サービスに対応した説明を参照に設定してください。

1. 簡単インターネット設定

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。
2. [メインメニュー] またはWWWブラウザの画面左側から、[簡単インターネット接続設定]の文字をクリックします。
→ [簡単インターネット接続設定] ページが表示されます。



3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択します。
メインメニューに3つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスを選択してください。

通常のPPPoE接続

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。

CATVインターネット接続サービスや、PPPoEプロトコルを使用しないADSL接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。また、IPアドレスの取得にDHCPを使用するサービスの場合は、こちらから設定を行ってください。

PPPoE接続で複数のグローバルIPアドレスを使用するLAN型接続のサービスをご利用になる場合こちらを選択してください。この機能はファームウェアバージョン5.XX.62pから追加されました。

[通常のPPPoE接続]では、PPPoE 方式を採用したADSL インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。



PPPoE接続ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。また、複数の固定グローバルIP アドレスが割り当てられるPPPoE インターネット接続サービスの場合は、[PPPoE複数IPアドレス LAN型接続]から設定を行ってください。

「通常のPPPoE接続」ページが表示されます。

40 ページが表示されました

2. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[簡単インターネット設定] - [通常のPPPoE接続]

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。
以下のPPPoE サービス名が指定されていない場合は "@" (アットマーク) 以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例 : nogunogu@planexbrl.ne.jp

注意

最大64 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを、正確に入力してください。
セキュリティのため、この欄に文字を入力しても "*" (アスタリスク) 表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例 : rYOC0%Mtu

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。
(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例 : PPPServ

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

パソコン上でWWWブラウザを起動した場合など、LAN側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] - [PPPoE接続の診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に"0"を入力してください。（工場出荷時の状態では「5」に設定されています。）

例：3

IPアドレスネゴシエーション

IPアドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IPアドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

ルータIPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

例：株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では1400、1300、1200の各値で動作確認を行っています。

注意

株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では1400、1300、1200の各値で動作確認を行っています。

3. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)
再起動後にインターネットに接続できます。

3. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]では、通常のADSL/CATVインターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

▲ 注意

PPPoE 接続ADSLインターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続] から設定を行ってください。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. メインメニューから、[簡単インターネット接続設定]ページ - [CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]を選択します。

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[簡単インターネット設定] - [CATVインターネットサービス、その他のADSL
接続サービス]

IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIPアドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IPアドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

WAN 側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 153.16.10.40

WAN 側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例 : 255.255.255.240

WAN 側デフォルトゲートウェイ

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例 : 153.16.10.36

ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。

ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIPアドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。

プロバイダからドメインを指定されている場合は、プロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例 : PLANEX

ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。(工場出荷時の状態では「brl01」に設定されています。)

例 : Mymachine

4. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

4. PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

[PPPoE複数IPアドレス LAN型接続]では、PPPoEを使ったインターネット接続サービスで、複数の固定グローバルIPアドレスが利用可能なサービスをご利用の場合の設定を行います。



注意

PPPoE ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。また、IPアドレスが1 個しか割り当てられない通常のPPPoE採用インターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

複数グローバル IP アドレスサービスの利点

通常のPPPoEインターネット接続サービスではIPアドレスが1個しか割り当てられません。また、PPPoEでプロバイダに接続した際に空いているIPアドレスが割り当てられますので、接続するごとに毎回違うIPアドレスが割り当てられます。これに対し、グローバルIPアドレスが固定的に割り当てられていると、常に同じグローバルIPアドレスでインターネットからアクセスできますので、サーバ公開には必須のサービスです。

PPPoE 複数グローバル IP アドレス接続サービスについて

本製品はファームウェアバージョン5.XX.62p より、「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」に対応しています。

本マニュアルでは、PPPoE 採用ADSL インターネット接続で複数のIP アドレスを提供するサービスを、「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続サービス」としております。その他のサービスでは機能しない場合がありますのでご注意ください。

「PPPoE 複数グローバルIP アドレスLAN 型接続サービス」はWWW 設定画面のみで設定可能です。TELNET 設定画面では設定できませんのでご注意ください。

IPアドレスの割り当て方法

プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられる場合、割り当てられる連続したグローバルIPアドレス空間のうち、最初(ネットワークアドレス)と最後(ブロードキャストアドレス)は、システムで予約されておりホスト(コンピュータ)には使用できません。また、本製品のようなルータに対するIPアドレスも必要になります。従って、お客様のホスト(コンピュータサーバ)で利用可能なIPアドレスは、(プロバイダから割り当てられたアドレス数 - 3)になります。(プロバイダから8個のグローバルIPアドレスが割り当てられている場合は5個が利用可能)

例：プロバイダから153.16.10.40 ~ 153.16.10.47 までのグローバルIPアドレスが割り当てられた場合

- 153.16.10.40 …… ネットワークアドレス(使用不可)
- 153.16.10.41 …… ルータ用(例：本製品LAN 側ポート)
- 153.16.10.42 …… お客様ホスト用(例：プライマリDNS サーバ)
- 153.16.10.43 …… お客様ホスト用(例：WWW サーバ)
- 153.16.10.44 …… お客様ホスト用(例：メールサーバ)
- 153.16.10.45 …… お客様ホスト用(例：FTPサーバ)
- 153.16.10.46 …… お客様ホスト用(例：その他サーバ)
- 153.16.10.47 …… ブロードキャストアドレス(使用不可)

注意

一般的にルータ(本製品LAN側)に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

本製品の機能

本製品の「PPPoE複数IPアドレス LAN型接続」機能を利用すると、プロバイダから割り当てられた複数のグローバルIPアドレスを持つパソコンを、本製品のLAN側ポートに接続可能になります。さらに、プライベートIPアドレスを持つホスト(パソコン)も接続することができます。

この際、本製品のLAN側ポートはグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスをそれぞれ1個、合計2つのIPアドレスを保持します。また、WAN側ポートにはIPアドレスは割り当てられておらず、Unnumbered となります。

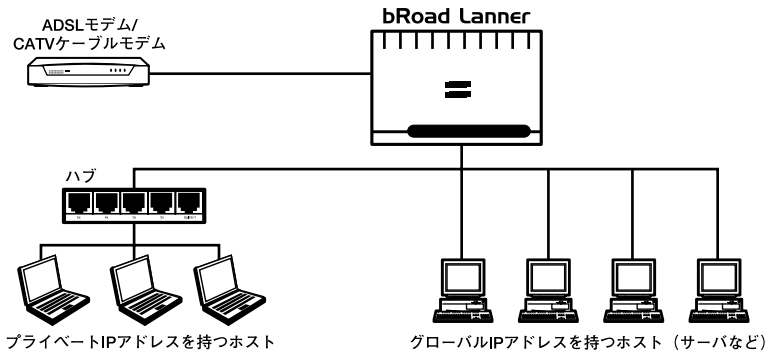


図1-1 PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

グローバルIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワーク アドレス	デフォルト ゲートウェイ	各ホストの アドレス	ブロードキャスト アドレス	サブネットマスク
IPアドレス	割り当てられた IPアドレス範囲 の最初のグロー バルIPアドレス	割り当てられた IPアドレス範囲 の2番目のグロー バルIPアドレス	ユーザ使用可 能なグローバ ルIPアドレス	割り当てられた IPアドレス範囲 の最後のグロー バルIPアドレス	プロバイダから 指定されたサブ ネットマスク
例: 53.16.10.40～ 153.16.10.45 の6個のグロー バルIPアドレスが割 り当てられている 場合	153.16.10.40	153.16.10.41	153.16.10.42～ 153.16.10.44	153.16.10.45	255.255.255.240

表3- 1 グローバルIPアドレス

⚠ 注意

一般的にルータ（本製品LAN 側ポート）に設定するグローバルIPアドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

プライベートIPアドレスネットワーク					
区分	ネットワーク アドレス	デフォルト ゲートウェイ	各ホストの アドレス	ブロードキャスト アドレス	サブネットマスク
IPアドレス	任意のネットワー クアドレス	任意のデフォ ルトゲートウェイ	任意	任意のブロード キャストアドレス	任意のサブネッ トマスク
例: 19.168.1.0/2.4プ ライベートアドレ ス空間を使用する 場合	192.168.1.0	192.168.1.1	192.168.1.2～ 192.168.1.254	192.168.1.255	255.255.255.0

表3- 2 プライベートIPアドレス

ホスト（コンピュータ・サーバ）の設定

本製品の複数グローバルIPアドレスLAN型接続機能（NAT & スルー）を利用する場合、LAN 側ポートに接続したホスト（パソコン・サーバ）のネットワーク設定は次のようになります。

グローバルIPアドレスのコンピュータ

< IPアドレス >

プロバイダから割り当てられたIPアドレス空間のうち、利用可能なグローバルIPアドレス（本製品LAN 側ポートに設定するルータアドレスを除く）

例：153.16.10.41

< サブネットマスク >

プロバイダから指定されたサブネットマスク

例：255.255.255.240

< デフォルトゲートウェイ >

割り当てられたIPアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレス（＝本製品LAN 側ポートに設定したグローバルIP アドレス）

例：153.16.10.41

プライベートIP アドレスのコンピュータ(本製品のDHCP サーバ機能を利用しない場合)

<IPアドレス>

任意のIP アドレス

例: 192.168.1.1

<サブネットマスク>

任意のサブネットマスク

例: 255.255.255.0

<デフォルトゲートウェイ>

本製品LAN 側ポートに設定したプライベートIP アドレス

例: 192.168.1.1

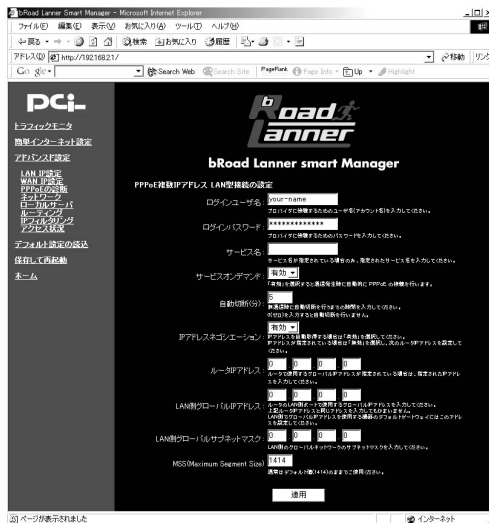
プライベートIP アドレスのコンピュータ(本製品のDHCP サーバ機能を利用する場合)

各パソコンのDHCPクライアント機能を有効(IPアドレスを自動的に取得する)
にするだけで設定完了です。

本製品の「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の設定方法

1. WWWブラウザで設定画面を開きます。
2. メインメニューから、[簡単インターネット接続設定]ページ - [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]を選択します。

[PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)
[簡単インターネット接続設定]ページ - [PPPoE複数IPアドレスLAN型接続]

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を、正確に入力してください。以下のPPPoEサービス名が指定されていない場合は”@”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例：nogunogu@planexbrl.ne.jp

注意

最大64 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名など異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても”*(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例：rYOC0%Mtu

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールパスワードなど異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoEサービス名を、正確に入力してください。とくに指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例：PPPServ

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

コンピュータ上でWWWブラウザを起動した場合など、LAN側のコンピュータからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続させる場合は、「有効」に設定してください。「PPPoE複数IPアドレスLAN型接続」の場合は、「有効」に設定することをお勧めします。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定] [PPPoEの診断] ページで手動接続しなければなりません。

自動切断(分)

PPPoEでインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に「0」を入力してください。複数グローバルIPアドレスLAN型サービスの場合は、「0」を入力して自動切断しないことを推奨します。（工場出荷時の状態では「5」に設定されています。）

例：0

IPアドレスネゴシエーション

プロバイダからルータのアドレスを指定されている場合は「無効」、指定されていない場合は「有効」を入力してください。（工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。）

ルータIPアドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は「0.0.0.0」を入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.41

LAN側グローバルIPアドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は割り当てられたアドレス範囲の2番目のグローバルIPアドレスを入力してください。（工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。）

例：153.16.10.41

LAN側グローバルサブネットマスク

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 255.255.255.240

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

例: 株式会社セガのDreamcastで『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。1400、1300、1200の各値で動作確認を行っていますので、このなかでできる限り大きい数値を設定してください。

注意

MSS 値はインターネット接続スピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。
(1414 以上は指定しないで下さい)

4. 入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

This image shows a full page of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a template for handwriting practice. There are no margins, text, or other markings on the page.

<http://www.planex.co.jp/>